

愛媛中医学研究会「特別講座」のご案内

この度、愛媛中医学研究会では日本中医学会の後援を賜り、東京中医鍼灸センター院長の浅川要先生をお迎えし、3月13日(日)に「特別講座」を開催いたします。

今回の講座では、午前は「弁証論治とは何か」という演題で、浅川先生の長年にわたる臨床から見えてきた診断から治療までの全体を系統的に捉えるための根拠となる「弁証論治」の真髓について解説していただきます。

午後は「潰瘍性大腸炎の鍼灸治療の実際」という演題で、2症例の症例検討を通じて潰瘍性大腸炎の診断から治療までを実技をまじえて解説していただきます。取穴と配穴の根拠はどこにあるのか、どのように刺すべきかなど、より実践的な学習内容となっています。

35年以上前になりますが、『針灸学』(刊々堂)が出版されました。当時、鍼灸を学問として解かれた『針灸学』は私たちに鍼灸の深さを教えてくれる大変興味深い教科書となりました。中国の大学で使われている教科書であることから、当時の中国の鍼灸治療を学ぶ貴重な参考書となりました。浅川要先生はこの『針灸学』の共同翻訳者の一人であり、日本での中医学発展の先駆者でもあります。

今回の研修会では臨床に役立つより実践的な内容となっています。多くの皆様に参加して頂き、今後の臨床に参考にしていただければ幸いです。

記

1. 日 時：平成28年3月13日(日)10時～15時

2. 演 題：午前 「弁証論治とは何か」

午後 「潰瘍性大腸炎の鍼灸治療の実際

実技指導

3. 講 師：浅川 要先生（東京中医鍼灸センター院長）

4. 会 場：愛媛県男女共同参画センター 3階 研修室

〒791-8014 松山市山越町450番地 089-926-1633（代表）

5. 参加費：一般 4,000円 学生 2,000円

日本中医学会員・愛媛県鍼灸マッサージ師会員・愛媛県鍼灸師会員 2,000円

※参加を希望される方は、予め下記の事務局までご連絡お願いいたします。

6. 後 援：日本中医学会、(公社)愛媛県鍼灸マッサージ師会、(公社)愛媛県鍼灸師会

7. 申込先：3月7日(月)までに、下記の愛媛中医学研究会事務局までお申込みください。

8. 講師紹介：浅川 要先生

1946年 東京生まれ。

1971年 早稲田大学第一文学部東洋史学科卒、中国通信社勤務。

1975年 東京高等鍼灸学校卒 横山瑞生氏に師事。

白鬚橋病院、富士見病院勤務を経て浅川鍼灸治療院開業。

『中医臨床』創刊に参画。

現在、東京中医鍼灸センター院長 東京医療福祉専門学校・教員養成科講師。

訳書：『針灸学』（1977年：刊々堂）、『難経解説』（1987年：東洋学術出版社）、他多数

著書：『針師のお守り』（2000年：東洋学術出版社）、『プロが教える東洋医学のすべてがわかる本』（2011年：ナツメ社）、『続・針師のお守り』（2015年：東洋学術出版社）

9. 愛媛中医学研究会事務局

〒790-0932 愛媛県松山市東石井 5-12-41

TEL : 089-957-5997(越智)

E-mail : ehime-chuui@mx81.tiki.ne.jp